



環境ユニバーシティ

岐阜大学の取り組み 2017



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

学長からのメッセージ

日本をはじめとするいわゆる先進諸国では少子高齢化が問題ですが、全世界的には人口爆発が続いていることは周知のとおりです。これを地球という限られた広さで支えるわけで、当然単位面積当たりの環境負荷が著増することと言うまでもありません。地球温暖化もその一端です。従って現在では地球環境を各国単位ではなくグローバルに守ることが、人類の将来にとって必須の課題です。世界の一員である我が国においてもエネルギー環境をはじめ問題が山積しており、個々人から始まる各レベルで環境問題に取り組む姿勢が不可欠です。



岐阜大学長 森脇 久隆

国立大学法人岐阜大学は従来より環境対策に関する取り組みを積み上げてきましたが、2013年にはISO14001の取得が全学レベル（医学部附属病院を除く）で完了し、2014年1月28日、審査登録証を授与されました。一つの事業体として一定の到達目標を達成できたものですが、今後はその定常的な見直しとレベルの維持、向上が責務です。また高等教育機関／高度研究機関でもある大学として、水環境、エネルギー環境などに関する教育と研究を積極的に展開し、広く国際貢献を行うことも意識しています。その目的で2015年度には研究推進・社会連携機構の直轄組織として「次世代エネルギー研究センター」を立ち上げました。その成果は、一定の地域を対象とした社会実装試験による検証段階に至りました。さらに先行する「流域水環境リーダー育成事業」ではアジアを中心に150名を超える人材（修士課程修了生）を既に輩出し、それぞれが帰国後、各国、各地域で環境対策リーダーとして活躍しています。

このような実績を踏まえ、岐阜大学は今後とも教育研究機関として、また一事業体としても環境問題により積極的に取り組んで参ります。



学生環境教育

ソウル科学技術大学校 環境工学科 パク・ヒョンジョン

こんにちは。私はソウル科学技術大学(韓国)からの交換留学生として岐阜大学で2016年(1年間)勉強していたパク・ヒョンジョンと申します。工学部の社会基盤工学科で勉強しました。

日本を選んだ理由？

韓国の図書館で環境関連書籍を借りて見ることもあり、インターネットでニュースを検索しました。複数の資料を通じ、韓国で現在施行されている環境法や環境政策が日本から持ってきて融合させたものが多くあることを知りました。そして、韓国だけでなく、多くの国が日本の環境統計や政策をたくさん参考に行っていることもわかりました。ニュースや新聞記事、書籍などを通じて、自然に日本の環境政策と工学に興味を持つようになり、日本に行って環境に関して話を直接聞くことを目標に日本語の勉強を始めて、岐阜大学に来ることができました。



どのような授業を受けたか？

環境衛生工学Ⅱ、現代社会論(社会の基盤)、環境マネジメントと環境経営、環境社会学、現代環境学(人の営みと環境)、環境セミナー、水環境科学、地盤圏環境・資源管理工学を受けてみました。

韓国の私の大学と比較して岐阜大学には、環境関連の授業が本当にたくさん用意されていて驚きました。また、岐阜大学には、それを理論的に終わるのではなく、地域社会と関連づけて、より実用的で現実的に接近していました。1年生の時から、このような授業を聞くことにより、ボランティア心、問題解決能力、自己主体思考力などを養うことができると思いました。さらに自分自身について探索するきっかけにもなって、卒業後の職業を決定する時にも、多くの参考経験になるんじゃないかなと思いました。だから岐阜大学の学生が本当にうらやましかったです。

岐阜大学の授業では、見学プログラムもたくさん用意されていました。本で学んだ再生可能エネルギー発電所や廃棄物埋立地、エココンクリートの生産工場、下水処理場などの見学に行ったおかげで、過去に学んだ工学の理解をより深めることができました。

以前は、環境問題を主に工学的な観点で見ていたところ、岐阜大学でのいくつかの経験と講義を通じて、過去の狭い観念から抜け出し社会的、経済的な面も考慮して考えてみる方法を学ぶことができました。



岐阜大学で学んだ知識や経験は、環境工学を専攻する私に多くの助けになると思います。より良い環境産業と未来のために活躍するのが夢な私に岐阜大学での留学生活は、いい体験でした。

機会をいただいた関係者、先生、本当にありがとうございます！そして良い思い出をたくさん作ってくれた友達！ありがとうございます！岐阜での生活は、人生で最も幸せだった瞬間の一つになったよ。

環境ユニバーシティを宣言しています



本学は、岐阜大学環境方針に基づき、
環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に展開し、
地域社会に貢献し、地域とともにありつづける大学として
2009年11月27日に「環境ユニバーシティ」を宣言しました。

岐 | 阜 | 大 | 学 | 環 | 境 | 方 | 針

岐阜大学は、本学が掲げる理念を達成するとともに、「環境ユニバーシティ」としての取組みを継続発展させ、環境に配慮した大学環境を創り出すとともに環境を担う優れた人材育成に努めます。

基本方針

1. 岐阜大学の特長を生かした環境教育・研究を推進します。
2. 教育・研究活動の環境側面を常に認識し、環境影響を評価し、環境汚染の予防に努めます。
3. 省エネルギー、省資源を推進し環境負荷の一層の軽減に努めます。
4. 教育・研究に関わる順守義務の適合に努めます。
5. 環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
6. 教育・研究を通して、気候変動の緩和及び生物多様性の保護に寄与します。
7. 毎年度活動目標を設定し、達成していきます。

岐阜大学は、この環境方針を学内外に周知し、広く公開します。

2016年4月1日

岐阜大学長
最高環境責任者

森 昭久 隆

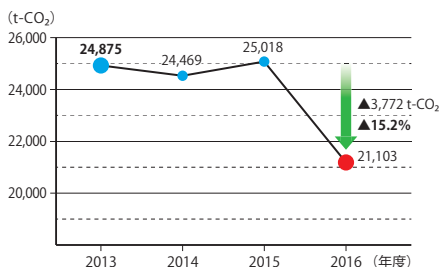
二酸化炭素排出量の削減に向けて

2015年12月にパリで開催された第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）にて「パリ協定」が採択され、日本は温室効果ガス排出量を2030年度において2013年度比26.0%削減を目標に掲げました。

また、2016年5月に閣議決定された「地球温暖化対策計画」では、学校等におけるエネルギー起源の二酸化炭素の排出量を2030年度において2013年度比約40%削減目標が設定されました。

これに伴い、本学の二酸化炭素排出量の削減目標を、『二酸化炭素排出量を2030年度において、2013年度比 40%以上の削減』と掲げました。本学は、「環境ユニバーシティ」としてエネルギーを有効利用し、低炭素社会の実現に貢献します。

■ 本学の二酸化炭素排出量



環境マネジメントの取り組み

全学でISO14001:2015を認証取得しています! (附属病院を除く)

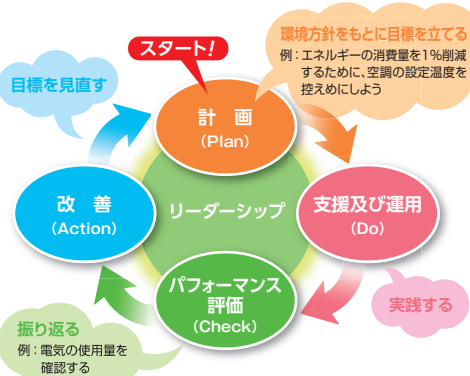
2015年に規格が改定されたことに伴い、2016年10月に移行審査を受審し、ISO14001:2015の認証を取得しました。

ISO14001とは?

国際標準化機構が制定した、各組織（企業、大学等）が「環境マネジメントシステム」を構築するための基準です。各組織の「環境マネジメントシステム」がその基準にそって構築され、運用されていることが第三者の審査機関によって認められると、「ISO14001」認証ということができます。

環境マネジメントシステムとは?

大学の教育・研究活動を進めることによって生じる環境への影響を少なくするために、環境目標を設定し、その目標達成に向けて、環境配慮活動に取り組んでいくシステムのことです。



大学の活動におけるマテリアルバランス (2016年度)

INPUT		岐阜大学の活動	OUTPUT	
総エネルギー投入量	451,745 GJ		温室効果ガス排出量	21,103 t-CO ₂
電 気	35,072 千kWh		総排水量	345,833 m ³
ガ ス	2,451 千m ³		事業系一般廃棄物	733 t
A重油	54 kL		産業廃棄物	352 t
灯 油	8 kL		特別管理産業廃棄物	215 t
水資源投入量	651,360 m ³		実験廃液量	50,149 L
コピー用紙購入量	182 t		リサイクル量	285 t

岐阜大学の環境対策の取り組み

学生による内部環境監査を実施しています！



有志の学生が、内部環境監査に参加しています。
学生たちは、ISO14001の概要や内部環境監査の手法について研修を受け、監査当日は職員とともに、大学の環境マネジメントシステムの取り組みについて、学生の視点から監査を行います。

2016年12月、内部環境監査員養成研修を修了した学生に、学長より修了証書が授与されました。

「eco検定」勉強会を開催しています！

「eco検定（環境社会検定試験）」とは、東京商工会議所が主催する環境問題について幅広い基礎知識の習得を目指す検定です。

環境問題に興味のある学生が集まり、勉強会を開催しています。

2016年度は、留学生を含む受験した15名全員が合格し、2017年度も有志の学生が合格を目指して勉強しています。

環境ユニバーシティを宣言する大学として、環境マインドを持ち、環境についての知識が豊富な学生が増えることを期待します。



「岐阜う米（まい）プロジェクト」を実施しています！



FC岐阜との環境連携事業として「岐阜う米（まい）プロジェクト」を実施しています。このプロジェクトは、米ができる自然環境をより身近に感じ、環境保全について考えてもらうことを目的とした活動です。

第1弾：親子田植え体験・どろんこサッカー（5月）

第2弾：岐阜大学生とFC岐阜選手との稲刈り（10月）

第3弾：収穫したお米の販売（11月）

「グリーンキャンパス」を実施しています！

キャンパスの環境美化の取り組みの一環として、毎年2回、全学でグリーンキャンパスを実施しています。

学生や教職員700名以上が参加し、キャンパス内やキャンパスに隣接する新堀川周辺のごみ拾いを行っています。

秋のグリーンキャンパス後には、集めた落ち葉でたき火をし、焼き芋を楽しむ学生の姿が見られました。



環境に関する教育

● 全学共通教育で「環境マネジメントと環境経営」を開講しています

この講義では、地球が抱えている環境問題の現状や、環境マネジメントシステムの枠組みなどについて学習します。市役所や企業の方をゲストスピーカーとしてお招きし、自治体や企業が取り組んでいる環境対策活動について紹介していただいたり、環境に配慮した設備の見学も実施しています。

2017年度前学期は受講者が50名に達し、学生の環境への意識の向上が感じられます。



岐阜市一般廃棄物処分場とメガソーラー発電施設を見学します

● 集中講義「環境、CSR(企業の社会的責任)とマネジメント」を開講します

2017年度前学期の集中講義として「環境、CSR(企業の社会的責任)とマネジメント」を開講します。現代の社会では、企業には利益を追求するだけでなく、企業の社会的責任(CSR)が問われるようになってきました。このことは、教育の現場である大学にとっても同様で、「教育・研究」「経済・財政」「環境・社会」の側面から「大学の社会的責任」(USR)が求められています。

この講義では、「環境」の側面から、CSR、USRとマネジメントシステムについて事例を踏まえて理解することを目的としており、学生が社会に出てからも様々な業務で、学んだことを活かせる内容となっています。

主な講義内容

- ▶ マネジメントの基礎
- ▶ 社会の動きを知る
- ▶ 倫理とコンプライアンス
- ▶ 企業の社会的責任(CSR)
- ▶ 大学の社会的責任(USR)
- ▶ CSR・USRとマネジメント
- ▶ リーダーシップ論・・・

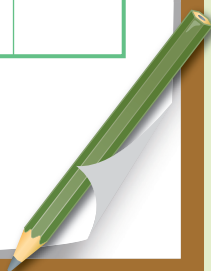
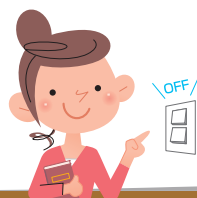
● 各学部で多数の環境に関する講義を開講しています

各学部での開講講義数及び主な環境講義は下記のとおりです。

全学共通教育	教育学部 教育学研究科	地域科学部 地域科学研究科	
27科目 - 現代環境学 - 岐阜県の生物の分布と生態 - 人と自然の関わりから見た岐阜	44科目 - 動物生態学、環境化学 - 野外実習 - 植物形態学及び実験	41科目 - 都市環境工学、環境法 - 農村振興論、地理学 - 環境物理学特論	
医学部 医学系研究科	工学部 工学研究科	応用生物科学部 応用生物科学研究科	自然科学 技術研究科
5科目 - テューリアル地域・産業保健学コース - 地域における健康危機管理	57科目 - 水環境科学、河川工学 - 景観デザイン - 都市交通計画 - エネルギーシステム工学	174科目 - バイオマス化学 - 植物栄養学、食品加工学 - 野生生物フィールド実習 - 先端基礎獣医学特別講義	95科目 - 地球環境計測工学 - 気象環境システム論 - 環境微生物化学特論 - 外来種管理学特論

✓チェックしてみよう!

チェック内容	チェック
エアコンの設定温度は控えめにしよう (室温の目安：夏28℃、冬19℃)	
照明の使用を必要最小限にしよう	
部屋を最後に離れるときは、エアコン・照明をOFFにしよう	
ごみは分別して、ごみ箱に捨てよう	
実験に使用した薬品は、「実験廃液等の分別貯留ポスター」に従って、適切に廃棄しよう	



岐阜大学の環境への取り組みは、
岐阜大学のホームページで紹介しています。

岐阜大学／大学案内／大学の取り組み／環境への取り組み

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~kankyo/>



岐阜大学の
「環境マネジメントシステム審査登録証」

ISO14001の活動と一緒にしてくれる学生を募集しています。

岐阜大学には、内部環境監査をしたり、エコ検定を受験したりと、自主的に活動をしている学生がいます。
興味のある人は、右のQRコードまたは下記メールアドレスにご連絡ください。

岐阜大学EMS専門委員会：iso_ems@gifu-u.ac.jp



〈問い合わせ先〉

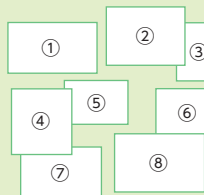
岐阜大学 環境対策室
(施設環境部 環境企画課 環境安全係)

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1

TEL：058-293-2118

FAX：058-293-2125

表紙写真



- ① 本部棟屋上から見るキャンパス
- ② 雑誌回収ボランティア
- ③ 環境月間懸垂幕
- ④ サークル活動を楽しむ学生
- ⑤ 緑化研究会 three trees 活動
- ⑥ キャンパスの桜
- ⑦ 環境講義のグループディスカッション
- ⑧ 岐阜う米プロジェクト